

科目名	判断推理 I	科目分類	<input type="checkbox"/> 専門科目群 (第1グループ)
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合科目群 (第2グループ)
			全学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
			学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	Judgment and Inference I	開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> 4年
ふりがな	くすやま ひろあき	開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
担当者名	楠山大暁	修得単位	2単位
授業のテーマ	数理論理学の基本を理解し、論理式の操作に習熟する。		
授業概要	日常会話でよく、「もっと論理的に話して下さい」などと言われることがあります。でも、「論理的」であるとは、そもそも一体何でしょうか。「論理的」と「非論理的」の境界はどこにあるのでしょうか？本講義では、数理論理学の基本を学ぶことによって、「論理的」であることはどういうことなのかを理解し、論理的推論に習熟することを目指します。		
到達目標	主として、公務員試験の判断推理における論理・集合分野の問題が解けるようになる。		
授業時間外の学習	授業で扱う内容をしっかり復習してください。 期末試験のほか、中間テスト、小テスト、レポート等を課します。		
履修条件	公務員試験合格及び数理論理学の基本の習得を目指している人のみを対象とします。		
授業計画			
第1回	ガイダンス、論理とは何か？		
第2回	論理記号を読めるようになる		
第3回	論理式の真偽		
第4回	必要条件と十分条件、対偶		
第5回	言語と推論		
第6回	等しいとはどういうことか？		
第7回	命題論理と述語論理		
第8回	中間テスト		
第9回	自然演繹		
第10回	三段論法		
第11回	集合 ベン図、キャロル表		
第12回	数に関する問題		
第13回	日常言語に関する問題 (1) 暗号		
第14回	日常言語に関する問題 (2) 嘘をついているのは誰か？		
第15回	総まとめ		
第16回	定期試験		

テキスト	小島寛之(2017)『証明と論理に強くなる』技術評論社
参考文献・資料	田辺勉(1998)『初級公務員試験 よくわかる判断推理』
成績評価の方法	<p>【小テスト(10%)、レポート(20%)、中間テスト(30%)、定期試験(40%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席回数が規定に満たない場合は試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業中に小テストを数回実施します。 ・レポート課題は授業内で提示します。 ・授業の理解及び予復習が充分であることを確認するため、第8回授業時に中間テストを実施します。
オフィスアワー	<p>毎週月・木曜日 13:00~14:30 ※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。</p>
学生へのメッセージ	公務員試験をきっかけにして、論理的とはどういうことか考えてみてください。